

計画事業番号	00482	事務事業名	ごみ処理広域化事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4102
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	地方自治法第284条				
事務事業開始年度	平成25年度	個別計画等	北広島市一般廃棄物処理基本計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境にまつまれた安全なまち (第 2 節) 廃棄物対策の推進 (施策 2) ごみ処理体制の充実	
2 対象	道央廃棄物処理組合	
3 目的と内容	北広島市、千歳市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町で構成する道央廃棄物処理組合において、広域での廃棄物中間処理(焼却)施設の設置を進めるため、負担金を支出する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	道央廃棄物処理組合負担金を支出(8,334千円) 事務局職員として次長職、課長職及び主査職を各1名千歳市に派遣
	29年度	道央廃棄物処理組合負担金を支出(34,381千円) 事務局職員として次長職、課長職及び主査職を各1名千歳市に派遣

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出	道央廃棄物処理組合負担金の支出

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	最終処分場の延命化を図るために、引き続き道央廃棄物処理組合に参画し、広域での廃棄物の焼却処理を開始するため、準備を進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			8,334		34,381		10,836		10,836	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		34,381		0		0	
		一般財源	8,334		0		10,836		10,836	
	① 合計	8,334		34,381		10,836		10,836		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	4,200	0	4,200	0	4,200	0	4,200	0	
総事業費①+④			12,534		38,581		15,036		15,036	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①議会(理事者)	目標値 実績値	回	- 2		
	②運営会議(理事者)	目標値 実績値	回	- 4		
	③連絡調整会議(部長職以下)	目標値 実績値	回	- 7		
	④焼却以外の施設検討会議(課長職以下)	目標値 実績値	回	- 1		
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、行政の責任において行うものであり、妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	広域での廃棄物の焼却処理に向けて、道央廃棄物処理組合を設立し、焼却施設の選定など処理開始に向けた準備等が進んでおり、十分に成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	今後、平成27年度に道央廃棄物処理組合が策定したごみ処理広域化基本計画に基づき、広域での廃棄物の焼却処理に向けて準備が進むことから、成果が向上する性質のものでない。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	広域での焼却処理を行うことにより、単独で処理する場合と比較して経済面等で十分に効果が期待できることから、これ以上の削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---